

- 1 題材 世界の国について知ろう（5時間完了）
- 2 指導計画（5時間完了）  
世界の国について知ろう・・・5時間（本時3／5）
- 3 本時の指導

(1) 目標

「どの国に移住したいか」を考えるために、必要な比較項目を考えることができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

課題解決に向けて情報の比較を行うために、どのような情報が必要かを考え、判断することができるようにする。

(3) 準備

ワークシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 前時の学習内容を思い出す。	○ 前時に「国名」や「面積」などの項目、「数値」が書かれたカードを使って行った活動を思い出させ、比較をするためには情報の整理や項目をそろえることが大切だということを確認する。
10分	2 発問について考える。	
	発問：表にまとめた国の中で「移住するならどの国がいいか」を考えましょう。	
	予想される児童の考え ・ 二酸化炭素の排出量が少ないフランスがよい。 ・ 世界遺産がたくさんある中国がよい。	○ 前時に扱った国の中から考えさせる。 ○ 前時の学習を生かして、それぞれの国の情報を比較して考えるように声を掛ける。 ○ 複数の視点（項目）で比較することが大事だということに気付くことができるように声を掛ける。
	めあて：移住する国を選ぶために、比較する項目を考えよう。	
6分	3 比較するための項目を考える。	○ 自分たちの生活を基に、移住するにあたりどのような項目を挙げるとよいかを考えるように伝える。
10分	4 学級で意見を出し合い、比較に必要なと思う項目について学級全体で共有する。	○ 学級で出た意見を短い言葉でキーワード化し、児童が捉えやすいようにする。 例 ・ 医療 ・ 税金 ・ 食事 ・ 気候 ・ 物価 ・ 仕事 ・ 治安 ・ 自然
10分	5 グループで話し合い、どの項目について調べるかを決め、ワークシートに記入する。	○ どの項目の情報を収集すれば課題が解決できるかを意識して考えるように声を掛ける。
	<p><b>評価事項</b></p> <p>課題解決に向けて情報の比較を行うために、どのような情報が必要かを考え、判断することができるようにする。 <span style="float: right;">【発言・ワークシート】</span></p> <p>□・・・自国のことを基準にし、それぞれの比較項目を考えるように声を掛ける。 ☆・・・なぜ、その項目を選んだのかについて、説明ができるように声を掛ける。</p>	
4分	6 本時の振り返りとまとめ	○ グループで決定したことを確認し、次時につなげる。

※ 斜体…情報活用能力を育成する学習活動